

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	盛岡手づくり村拡充事業			事業コード	0560
所属コード	131000	課等名	商工観光部 商工課	係名	工業係
課長名	沼田 秀彦	担当者名	熊谷 朋宏	内線番号	3713
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	まちに活力を与える工業の振興	コード	2
	基本事業	中小企業の経営力の強化	コード	4
予算費目名	一般会計 7 款 1 項 2 目 盛岡手づくり村振興事業 (003-01)			
特記事項				
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	年度	
根拠法令等				

(2) 事務事業の概要

盛岡手づくり村の魅力向上を図り、手づくり村の振興、地場産業振興に資するため、新たな工房を導入する。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

拡充用地を活用した手づくり村拡充計画を推進してきた。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

拡充用地を活用する方針から転換し、現手づくり村に新規工房を平成 16 年度に建設した。今後も、手づくり村の振興策の中で拡充事業について協議する必要がある。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象（誰が、何が対象か）

盛岡広域で製造を行なっている中小企業
盛岡手づくり村の来場者数
振興センター即売室の売上

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	24年度 見込み
A. 来場者数	人	515,974	486,115	535,000	460,125	535,000
B. 即売室売上額	千円	191,903	170,844	197,000	215,719	238,000
C. 盛岡広域の中小企業数（製造を行なっている企業。従業員4人以上）	社	497	450	450	430	430

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

23年度は盛岡手づくり村振興事業[0547]の中で対応した。

（参考）

平成16年度

土地賃貸等新規工房建設支援業務
関係機関，建設工事関係業者との調整
基盤設備に係る市営工事の実施
役所内部の協議調整

平成17年度

委員会，ワキソググループ会議の開催。手づくり村内及び役所内部の協議調整

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	24年度 目標値
A. 関係者の打合せ等	回	0	0	0	0	0
B. 委員会の開催	回	0	0	0	0	0
C.						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

盛岡手づくり村の施設の充実を図り，減少傾向にある来場者数及び即売室の売上に歯止めをかけ，手づくり村の発展を図るとともに，盛岡地域の地場企業の発展を図る。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	24年度 目標値
A. 来場者数の前年度比較（本年来場者数÷前年来場者数）	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	102	95	110	95	116
B. 即売室売上額の前年度比較（本年売上額÷前年売上額）	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	107	89	115	127	110
C.	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	0	0	0	0
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	0	0	0	0
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	0	0	0	0
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	0	0	0	0
計	トータルコスト A+B	千円	0	0	0	0
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

結びついている。

理由：手づくり村の活性化が地場産業の全体的な発展育成につながる。

② 市の関与の妥当性

妥当である。

理由：手づくり村は市が主体となって開設したものであり、拡充計画についても市が主体となって行うべきものである。

③ 対象の妥当性

妥当である。

理由：手づくり村の運営状況を把握するために妥当な対象である。

④ 廃止・休止の影響

影響がある。

その内容：現状では手づくり村を拡充する段階に至っていないものの、地場産業及び観光の拠点として一層の整備が求められており、盛岡手づくり村振興事業[0547]の事業展開と絡めて今後の拡充について検討を継続する必要がある。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

向上余地がある。

その内容：拡充用地に地場産業の集積を図ることや、手づくり村の魅力向上を図る幅広い基盤整備ができれば、成果の向上余地があると考えられる。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

公平・公正である。

理由：入居にあたって既入居者・新入居者・関係機関との間で条件を刷り合わせているため
公平・公正と考えられる。

(4) 効率性評価

事業費・人件費は削減できない。

理由：盛岡手づくり村振興事業[0547]と併行して事務処理を行っていることから特段の削減
はできない。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

当面は盛岡手づくり村振興事業[0547]と絡めて拡充事業の検討協議を継続する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

事業費，人件費の確保が課題。盛岡手づくり村振興事業[0547]による事業向上により，その
先にある本拡充事業への対応が可能と考える。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

拡充用の用地は確保しているが，現下の状況では拡充することより優先して行う事業がある。
このため，今年，盛岡手づくり村振興事業[0547]に統合することを検討し，当該事業の中
で優先順位を決めながら，手づくり村全体の集客効果を高めるよう事業を推進していく。